

校長挨拶

「人と人の間に垣根のない笑顔あふれる学校に」

今年度の羽島特別支援学校は、新たに小学部16人、中学部21人、高等部35人の新入生を迎え、小学部87人、中学部50人、高等部82人、合わせて全校生徒219人でスタートしました。昨年度より児童生徒数が9名減りましたが、県内屈指のマンモス校であることには変わりありません。

さて、当校は、2016年（平成28年）、羽島市地域の署名を集め開校し、今年で10年目を迎えました。今、竹鼻別院の藤が咲き誇り、当校の木々も萌黄色が春空に鮮やかに映え、学校は、児童生徒たちと教職員のにぎやかな声や楽しそうな笑顔、笑い声があふれ、活気づいています。

当校の教育は、学校内外の行事や地域とのつながりを活発に行い、児童生徒が地域の中で体験的な活動を通して学び成長し、何より笑顔あふれる1年間にしたいと考えます。小学部、中学部、高等部の児童生徒が一堂に会した始業式で、私は今年もこう話しました。

『友だちや仲間と仲良く学校生活を送ることができるよう、3つお願いがあります。1つ目は、自分から挨拶をしましょう。＜相手に気持ちよく＞＜相手より自分から＞＜相手に聞こえるように＞「笑顔で、おはよう」「心から、ありがとう」「素直に、ごめんなさい」が言える人になってください。2つ目は、いいこと見つけをしましょう。1日に一つ、二つ、三つとたくさん「楽しい、よかった、面白い、いいね」を見つけてみましょう。そして、友だちや仲間のいいことは、相手に「それいいよ」と教えてあげましょう。3つ目は、気持ちを伝えましょう。「楽しい」「うれしい」「気持ちいい」「面白い」「やめて」「いやだ」「助けて」など、自分の気持ちを友達や仲間、先生やお父さんお母さんに話して伝えましょう。これらのことは、人と仲良く生きるための「魔法の行動」です。』と。

これは、私たち大人にとっても同じことです。そこに笑顔があふれ、人間関係に垣根ではなく花が咲く学校になることを願って、私たち羽島特別支援学校の教職員は、熱意と責任をもって指導に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和7年4月吉日

岐阜県立羽島特別支援学校

校長 廣瀬 雅行